

図書館のイチオシ



サンタ様
目印はしましまの
くつ下です☆

簡単なのにおいしい！おうちスイーツ168 《主婦と生活社》

お店で買うケーキもいいけど、今年のクリスマスは自分で作ってみるのはどう??ケーキなんて作ったことないし、何だか難しそう…と思っているそこのキミ!簡単でかわいいケーキが作れる本があるよ♪いちごのショートケーキにガトーショコラ、チーズケーキなどなど、どれもおいしそう!クリスマス用にブッシュ・ド・ノエルやプチドーナツリーの作り方も載ってるよ。Let's クッキング♪

【H596.6/カ】

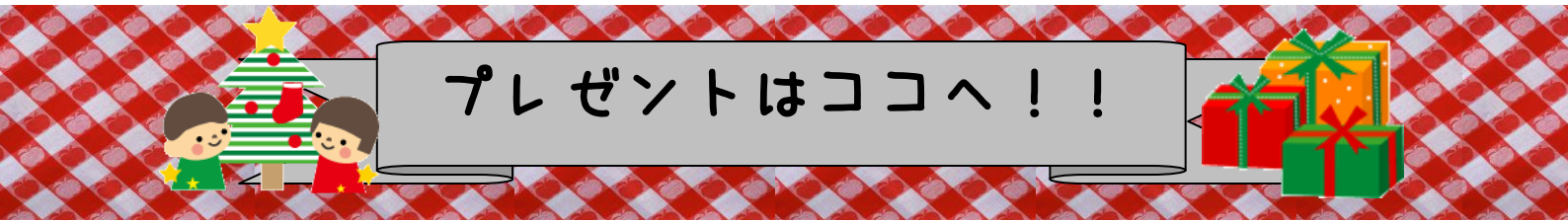


白をつなぐ《小学館》まはら三桃/著



冬になると駅伝やマラソンをテレビでよく見るけど、なんで冬に走るんだろう?学校でもマラソン大会は冬だった…(>_<) 都道府県対抗男子駅伝、福岡県代表として中学生・高校生・大学生・社会人の、優秀だが一癖も二癖もある10人が集められた。練習初日からトラックを逆走する中学生に、見た目を気にする高校生のチャラ男。落花のおすすめは話し方が独特なコーチ☆世代の違う選手たちは悩みや葛藤を抱え、走る。選手たちはひとつになれるのか!?

【913/マ】



プレゼントはココへ!!



図書館のイチオシ



秋は読書♪

ぱんぱかパン図鑑《地球丸》金子健一/著

秋といえば、もっぱら食欲な落花生です☆そんな落花が紹介したいのがこの本！全142種類のパンの食べ方が載ってるよ♪ひと手間加えるだけで、ふつうのパンがこんなにおいしそうになるなんて！というかバタートーストだけでこんなにアレンジできるなんて！！どれもこれもおいしそうで試したくなるものばかり☆ハラペコのときに見ると、お腹の虫が鳴りやまないよ。。

【H596.6/ハ】

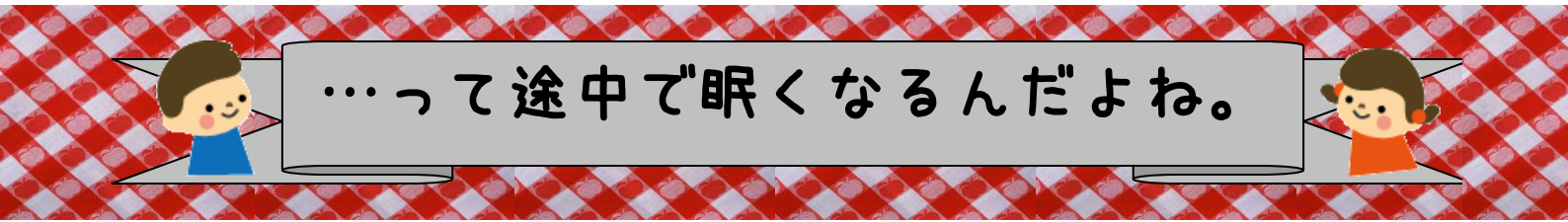


神さまのいる書店 まほろばの夏《(株)KADOKAWA》三萩せんや/著

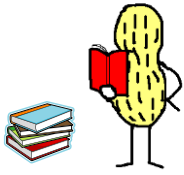


本が好きな高校生の紙山ヨミ^{かみやま}。家にも教室にも自分の居場所がないと思っているヨミは、学校の図書室や本屋に入り浸る日々。嫌な現実を見ないように、本の中の世界に逃げていた。そんなヨミを心配して、図書室の先生がバイト先に“まほろば屋書店”を紹介してくれた。そこは植物が蔓を伸ばし、動物が駆け回る書店とは思えないような光景が広がっていた。そして、書棚には魂が宿るという不思議な“まほろ本”が並んでいた。はじめは戸惑っていたヨミも、本たちと過ごすうちに、一冊のまほろ本・サクヤに心惹かれていく…。

【TF913.6/ミハ】

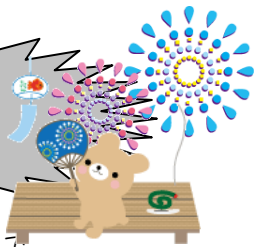


…って途中で眠くなるんだよね。



図書館のイチオシ

みんなで
花火やろうよ♪



ことだま《集英社》「野球太郎」編集部/編、石井孝/編

夏と言えば甲子園！毎年、たくさん的高校球児たちが一球一球に魂を込めて野球に打ち込んでいる。勝つ者がいれば負ける者もいる、負けたらそこで終わりのトーナメント戦で鎬しのぎを削っている。そして、彼らが思う存分野球に打ち込めるのは、周りの監督やマネージャー、両親など、いろいろな人のサポートがあってこそ。そんな野球に携わるすべての人々に贈る、名監督や名選手の「野球の言葉」が詰まったのがこの一冊だ。「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのなら、それはまだ努力とは呼べない。」（王貞治）などの名監督や名選手の言葉は、野球に携わっていない人にも通じる思いがあるはず。今年の夏は熱く何かに打ち込んでみない？



【L783.7/コ】

しばしとどめん北斎羽衣《理論社》花形みつる/作



中学生の為ため一の家は曾祖父の代から続く骨董屋。家族は父親だけ。父親に愛想をつかした母親は家を出て行ったからだ。ある日、父親がぼろぼろの布にくるまれたおじいさんを拾ってきた。父親は、このおじいさんを江戸時代から来た葛飾北斎だ!!と断言し、家で面倒を見ることに…。美の巨匠・北斎だけあって？気性が激しく、大好きなコンビニ（コンビニ）でチョコレートや甘いものを買って漁るコマッタさん。でも、為一はこのおじいさんに自分の祖父を重ね、なぜか憎めない。ふと見たデッサン画は…もしかしてホンモノ??

【F913.6/ハナ】

きもだめしはやらないよ！





図書館のイチオシ

また雨かぁ…。



大人でも答えられない! 宇宙のしつもん《すばる舎》荒船良孝/著

宇宙って想像できないくらい広いけど、いつどこでどんなふうになんた誕生したと思う? 地球以外にも生き物があるっていうけど、ホントにいるのかな? 知ってるようで知らないことだらけの宇宙。実は、宇宙のなかで、星や銀河が占める割合は約4.9%。残りの約95.1%は正体不明なんだって。宇宙の話って難しいイメージがあったけど、SF小説やマンガで見かける超高速で移動する“ワープ”は理論上では可能らしい。って聞くと将来が楽しみにならない?

【440/オ】



鬼塚パンチ! 《(株)KADOKAWA》鬼塚忠/著



6月といえば「父の日」! みんなのお父さんはどんなお父さん?? 優しいお父さん、かっこいいお父さん、尊敬できるお父さん…このお話の主人公・隼人のお父さんはなんとも個性的(というかぶっとんでるといふか…) ☆赤・緑・黄のラスタカラーの服に身を包み、頭はドレッドヘアのジャマイカスタイル。ボブ・マーリーを敬愛し、上町商店街を盛り上げるため、即興で歌を披露する。鬼塚理髪店を営んでいるが、サインポール(床屋さんの店先でぐるぐる回っているアレ)までラスタカラー。拳銃の果てには、祭りのために息子の頭をパンチパーマ(サブちゃんカット)にしてしまう…。こんなお父さんのハチャメチャぶりに何度も笑わせられました。無茶苦茶なお父さんだけど、隼人がピンチのときには必死になってくれるステキな一面も☆こんなお父さんも悪くないかも?? 【F913.6/オニ】

たまにはお家でのんびりしようかな





図書館のイチオシ



スヌーピーの友だちがほしい《主婦の友社》チャールズ・M. シュルツ/著、谷川俊太郎/訳

友だちって何だろう？一緒に遊ぶ人？共通の何かを持っている人？そのままの自分を受け入れてくれる人？改めて考えてみると、わかるようでわからない友だちの定義。でも実はもっと単純なことかもしれないね☆新しい年度が始まって、どんな子と出会うのか、楽しみなような不安なようなドキドキする4月。友だちについて、チャーリー・ブラウンと一緒に考えてみるのはどう？？

【N726.6/ス】

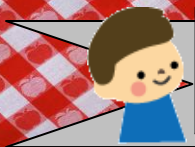


ABC! 曙第二中学校放送部《講談社》市川朔久子/著

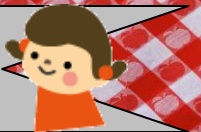


みんなの学校には放送部はある？落花の学校にはあったような気もするけど、なかったかも…？曙第二中学校放送部（あけぼののブロードキャスティングクラブ）、略して“ABC”に途中入部してかれこれ半年のみさと。3年生に進級したのはいいけど、去年までいた先輩が卒業してしまい、現在部員は機材オタクの古場とみさとの2名だけ。このまま新入部員が入らなければ、来年にはなくなってしまう…。新入部員の勧誘には失敗するし、学校一厳しい先生には目をつけられるし、前途多難。超美人だけど一癖ある転校生の葉月や元野球部の新納をむりやり部員にして、放送コンクール出場を目指す！放送部の運命はいかに！？

【913/イ】



お弁当もって一緒にでかけよう♪





図書館のイチオシ



マイペースのススメー《パイインターナショナル》平林美紀/写真、三井明子/文

今年は羊年☆なので(?)、羊がいっぱい出てくる写真集を紹介するよ。羊たちの自由気ままな写真に、ほっこりする言葉が添えてあります。「となりの芝生が青かったら、遊びに行っちゃう。」「ムリしてやっても、だいたいムリ。」「道草くってる場合です。」羊いいこと言ってます。ちょっと疲れたとき、この本に出てくるかわいい羊の写真と言葉に癒されてみては?眠れない夜に見るといいかもね。羊が一匹、羊が二匹、羊が三匹、羊が…いっぱい来た(.。.:



【748/マ】

卒業するわたしたち《小学館》加藤千恵/著



卒業って聞くとどんなイメージを持つだろう。寂しい、悲しい、別れ…。小学校や中学校とか、学校の卒業もあるけど、“卒業”ってそういったものだけじゃない。好きな人や親、他にもいろいろなことから卒業はある。卒業したくないって思っているしなくちゃいけないこともある。慣れ親しんだ場所から離れるのは確かに寂しいし、不安に思うかもしれない。でも、卒業は新たな一歩を踏み出すスタートラインでもあるんだよ。この本には様々な形の“卒業”が載っていて、どの話もグッとくるものばかり。共感できるものがぎっしりとあるはず。未来への確かな一歩を踏み出していく13人の話☆

【F913.6/カト】



じゃっじゃあ…作ろうか?

